

2006 平成18年

ふいふい 放水水路

10月号 vol.151

Izumo Office of River Chugoku Regional Development Bureau



特集

空から見たらよくわかる
斐伊川放水路事業

まんじゅうしやん ひがしはな
曼珠沙華(彼岸花)
神戸川の川原を真紅に染める彼岸花。
一輪一輪は、とても可憐な花ですね。

空から見たら 斐伊川放水路事業

斐伊川・神戸川治水計画3点セットが公表されてからおよそ30年。
 斐伊川放水路事業起工式から12年。
 神戸川周辺のみなさんのご協力によって、斐伊川放水路工事は着実に進んでいます。



アップで見よう

事業が進む神戸川周辺から、3つのポイントをアップでチェックして見よう。どんな風に変化しているのかな？

チェック1 神戸川河口付近



河口付近は、新内藤川水門が建設され、新しい堤防ができ、川幅が広がった様子がわかります。

チェック2 神戸橋付近



現在の写真からは、神戸橋と並行して、架け替えの新しい神戸橋を見ることができます。神戸堰、JR神戸川橋梁も改築中です。

チェック3 放水路開削部付近



比較して見ると、元々は丘陵地だったところに、放水路が建設され、その姿が目で見えてわかるようになってきました。

神戸川歴史散策シリーズ

馬木大井堰

「地域を支えてきた歴史的土木遺産」

馬木大井堰は、江戸時代初期に古志・知井宮・神西の新田開拓を行うために開削された灌漑用水（十間川）に、神戸川の水を引き入れるために設けられた斜め堰です。一六八九（元禄二）年に石を敷き、井堰を設けたのがはじまりでした。一七七八（享保三）年に改修され、さらに岩樋が掘られました。

樋門から神戸川の水を受けた十間川は、周辺の田を潤しながら約九キロメートル下流の神西湖に至ります。川沿いには、寺社、古墳など、多くの歴史文化遺産が残されており、散策コースとして親しまれています。



十間川取水口の樋門。隣には改修記念碑が建てられています。▶

現在の馬木大井堰。神戸川を斜めに横断する形でブロックが配置され、十間川へとスムーズに水が流れるようになっています。



十間川沿いのみどころ!

神戸川周辺のよい写真や、おすすめスポットがあったら下の連絡先までお知らせ下さい。



放れ山古墳。登ると神戸川にかかる古志大橋が望めます。

参考文献：松江・出雲散歩24コース 山川出版社 斐伊川史 斐伊川史刊行会

工事発注情報

- 斐伊川放水路上塩冶法面对策工事
H18.9.5 ~ H19.2.28 今岡工業(株)
- 斐伊川放水路大井谷法面对策工事
H18.10.4 ~ H19.2.28 日特建設(株)
- 斐伊川放水路第2管理作業
H18.10.6 ~ H19.3.31 山口建設(株)



十間川沿いには、歴史文化遺産の案内板が設置されています。



16世紀創建の勝定寺。春のツツジで有名です。秋には紅葉も楽しめます。



国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1 TEL(0853)21-1850 FAX(0853)22-7829

E-mail: izumo@cgr.mlit.go.jp ホームページ <http://www.izumokasen-mlit.go.jp/>

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。 問い合わせ先: ふれあい放水路担当 放水路推進室 事業対策官